

2026年5月期 決算説明

2026年7月6日

 **三井物産株式会社**
MITACHI CO.,LTD.

東証スタンダード・名証プレミア
3321

2026年5月期 決算概要

●売上高

前期比で増収

自動車分野は自動車部品メーカー向け半導体販売の増加などもあり増収
民生分野、産業機器分野は前期並みの売上で推移
アミューズメント分野は遊技機関連の販売が堅調に推移

●営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する純利益

前期比で各利益は増益

売上高の増加に伴い売上総利益が増加
人手不足や物価・賃金上昇により物流費や人件費等が増加

●株主還元

年間配当金は1株につき80円

(中間配当金40円、期末配当金40円※)

※期末配当金は2026年6月開催の取締役会で決議しております

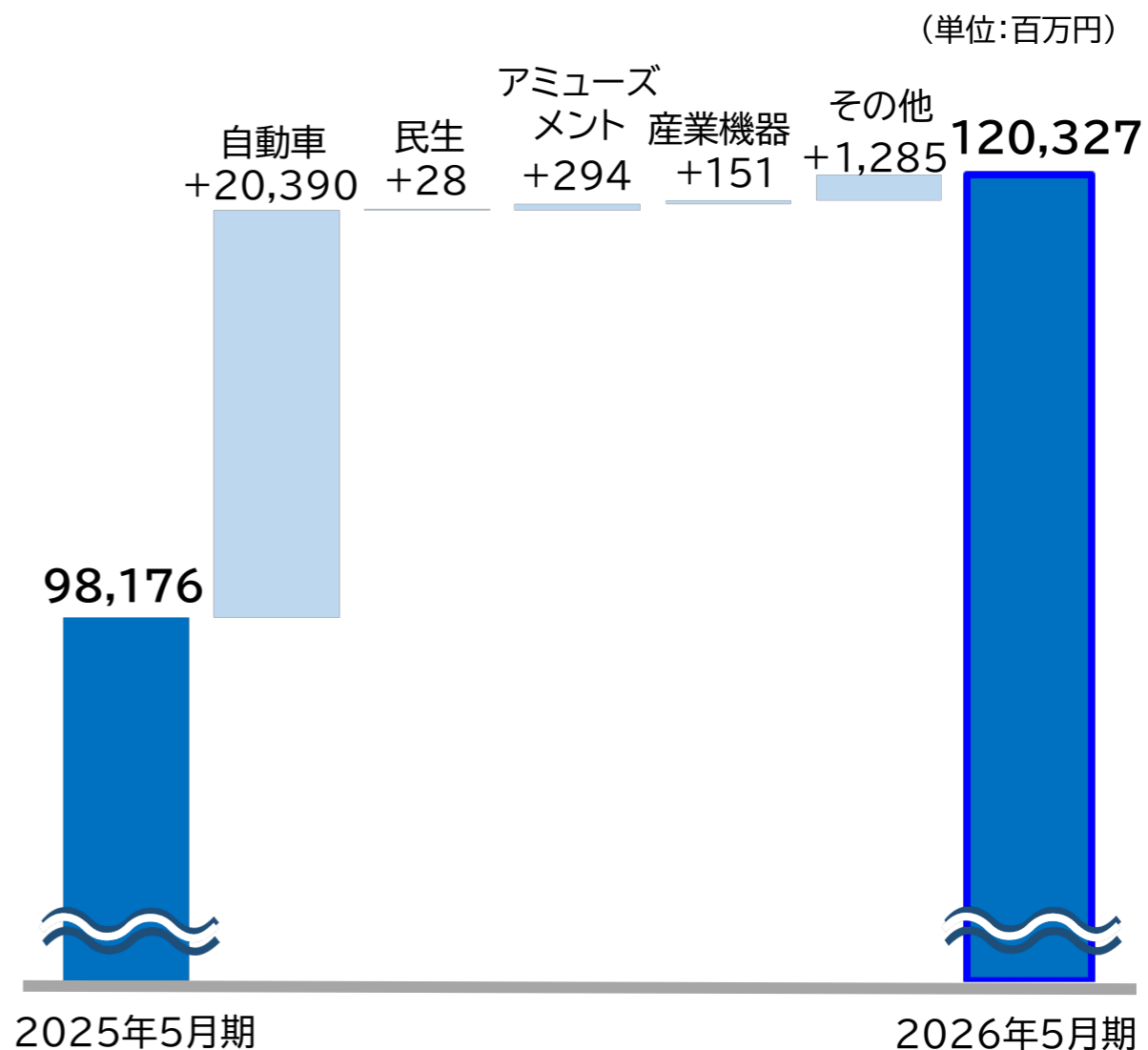
2 2026年5月期 決算概要①

決算概要

(単位:百万円)

	2025年5月期		2026年5月期		前期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	増減額	比率
売上高	98,176	-	120,327	-	22,151	+22.6%
売上総利益	5,286	5.4%	6,063	5.0%	776	+14.7%
販売費及び一般管理費	3,138	3.2%	3,300	2.7%	162	+5.2%
営業利益	2,148	2.2%	2,763	2.3%	614	+28.6%
経常利益	2,377	2.4%	3,054	2.5%	677	+28.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,696	1.7%	2,130	1.8%	433	+25.5%

売上高

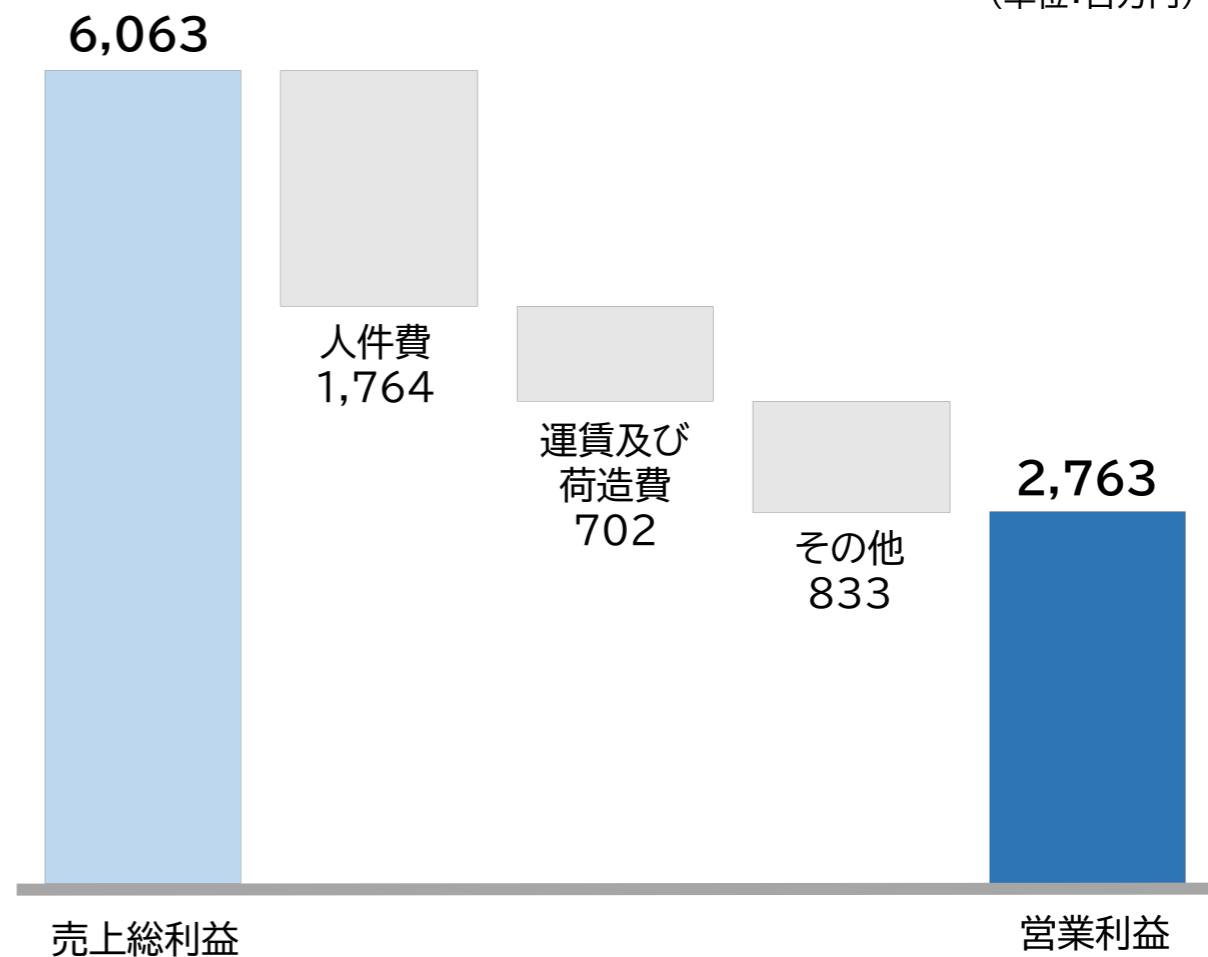


販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	2025年5月期	2026年5月期	前期比	
	金額	金額	増減額	比率
売上総利益	5,286	6,063	+776	+14.7%
人件費※	1,678	1,764	+86	+5.1%
運賃及び荷造費	625	702	+76	+12.3%
その他	834	833	△1	△0.1%
営業利益	2,148	2,763	+614	+28.6%

(単位:百万円)

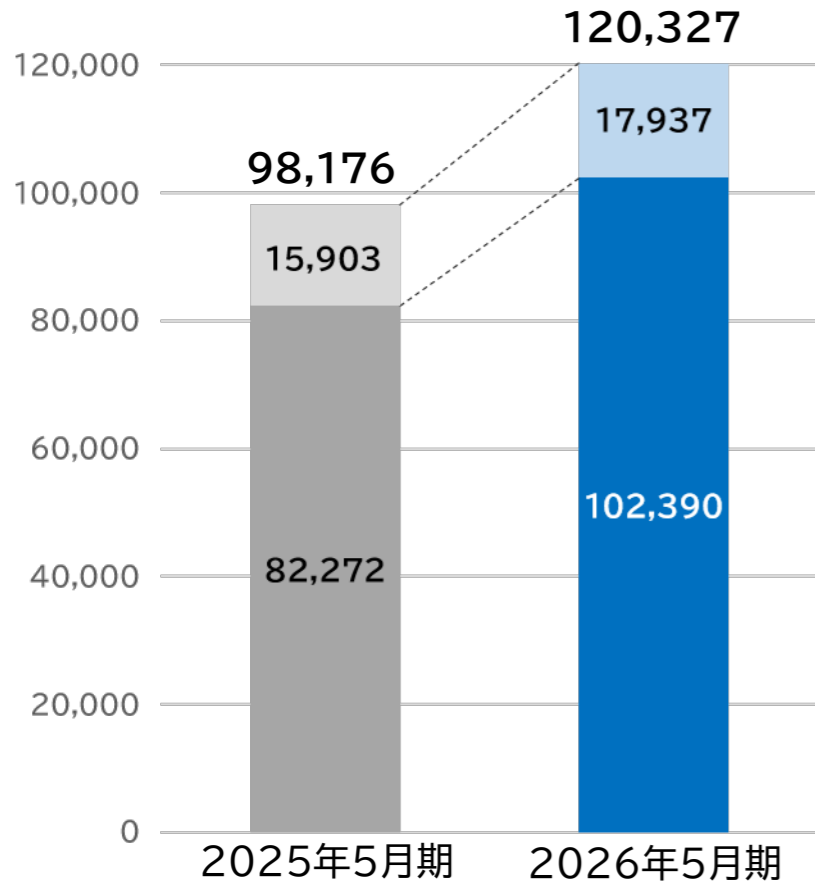


※人件費には給与、賞与、役員報酬、社会保険料、法定外福利費などが含まれております。

4 2026年5月期 決算概要③

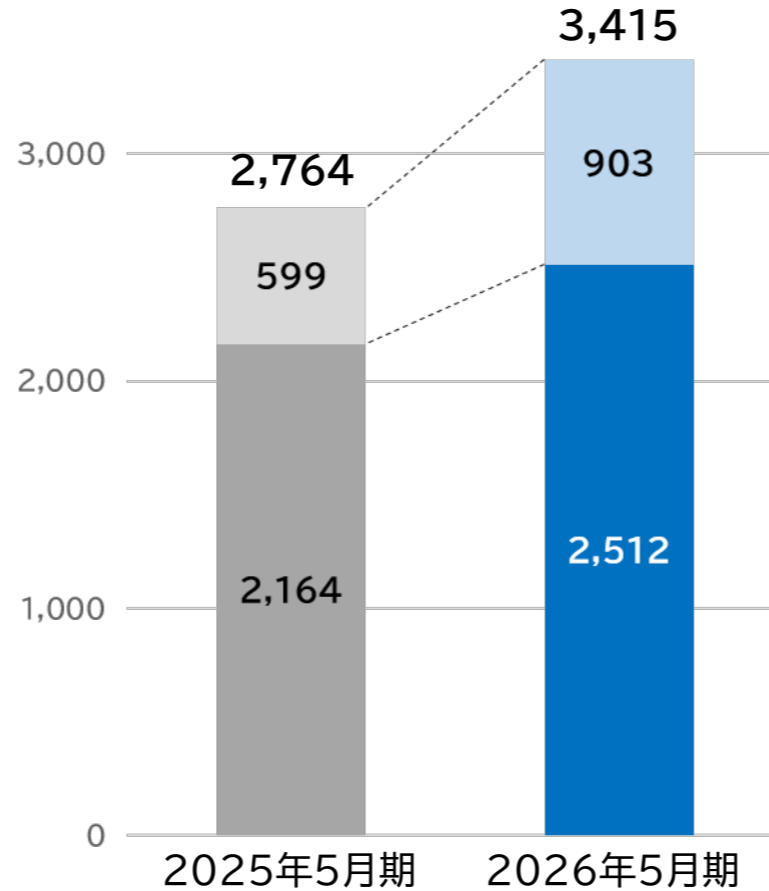
	2025年5月期	2026年5月期	前期比増減
1株当たり当期純利益	212.97円	267.25円	+54.28円
自己資本当期純利益率	11.3%	12.7%	+1.4p
総資産経常利益率	7.9%	7.5%	△0.4p
売上高営業利益率	2.2%	2.3%	+0.1p
総資産	40,028百万円	40,943百万円	+914百万円
純資産	15,706百万円	17,931百万円	+2,224百万円
自己資本比率	39.2%	43.7%	+4.5p
1株当たり純資産	1,967.07円	2,243.18円	+276.11円

セグメント売上高 (単位:百万円)



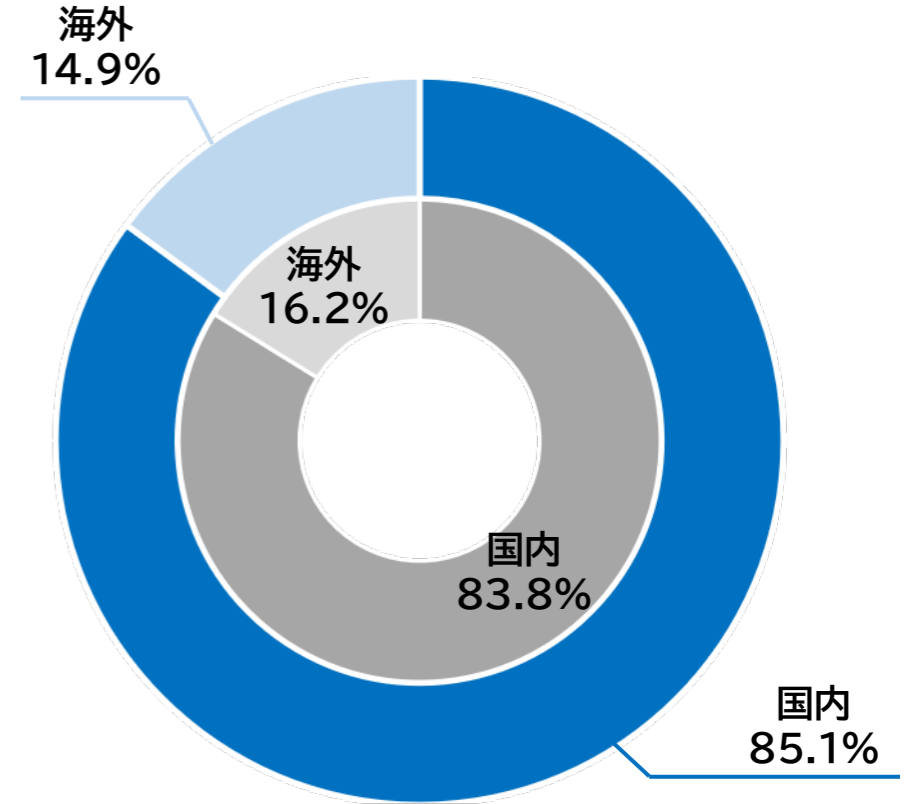
売上高・海外
 売上高・国内

セグメント利益 (単位:百万円)



利益・海外
 利益・国内

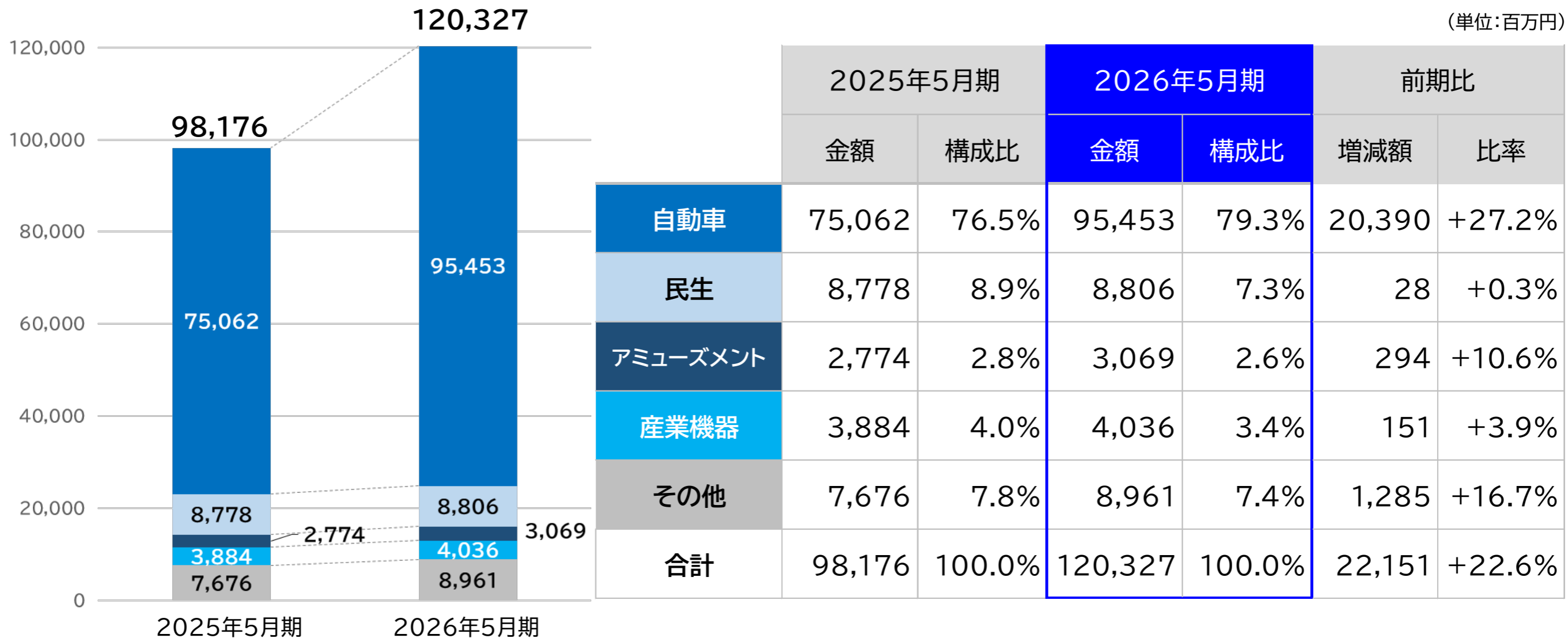
売上高 構成比率



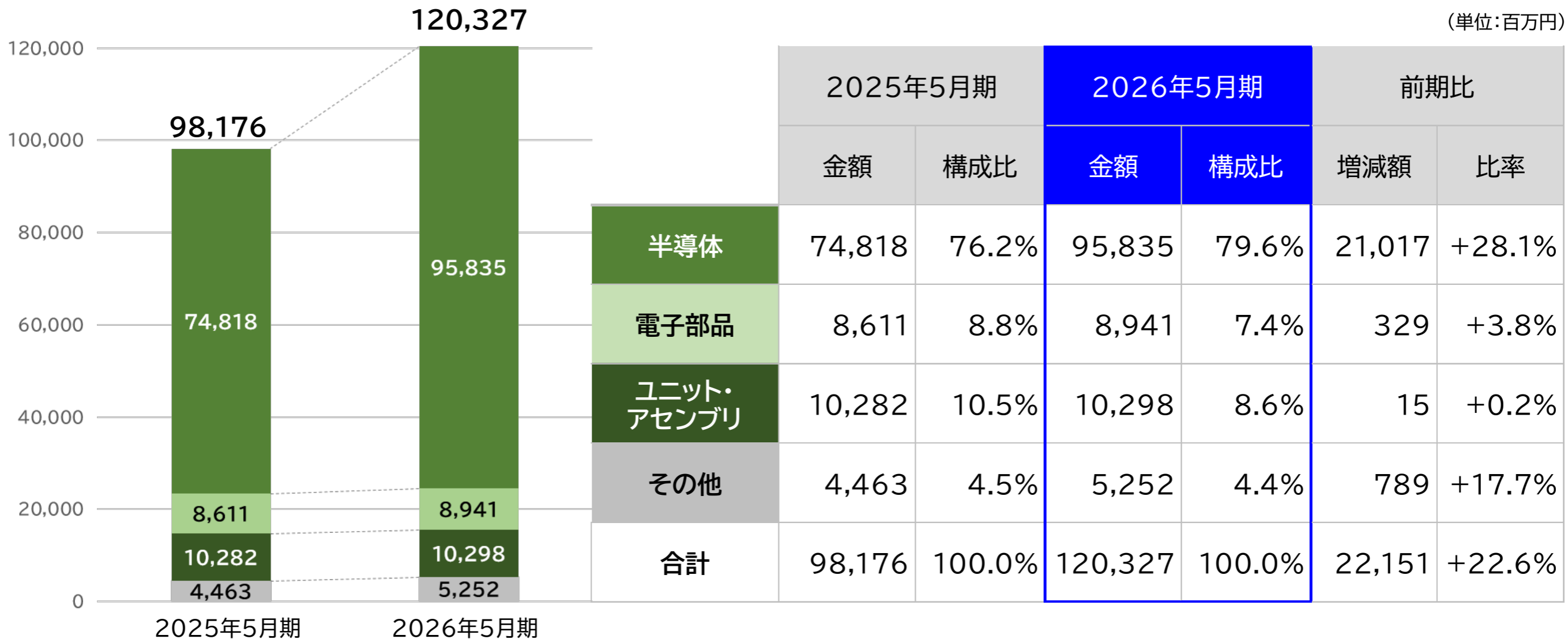
2025年5月期
 2026年5月期
 国内 海外

6 2026年5月期 (参考)分業別売上高

分業別売上高(参考)



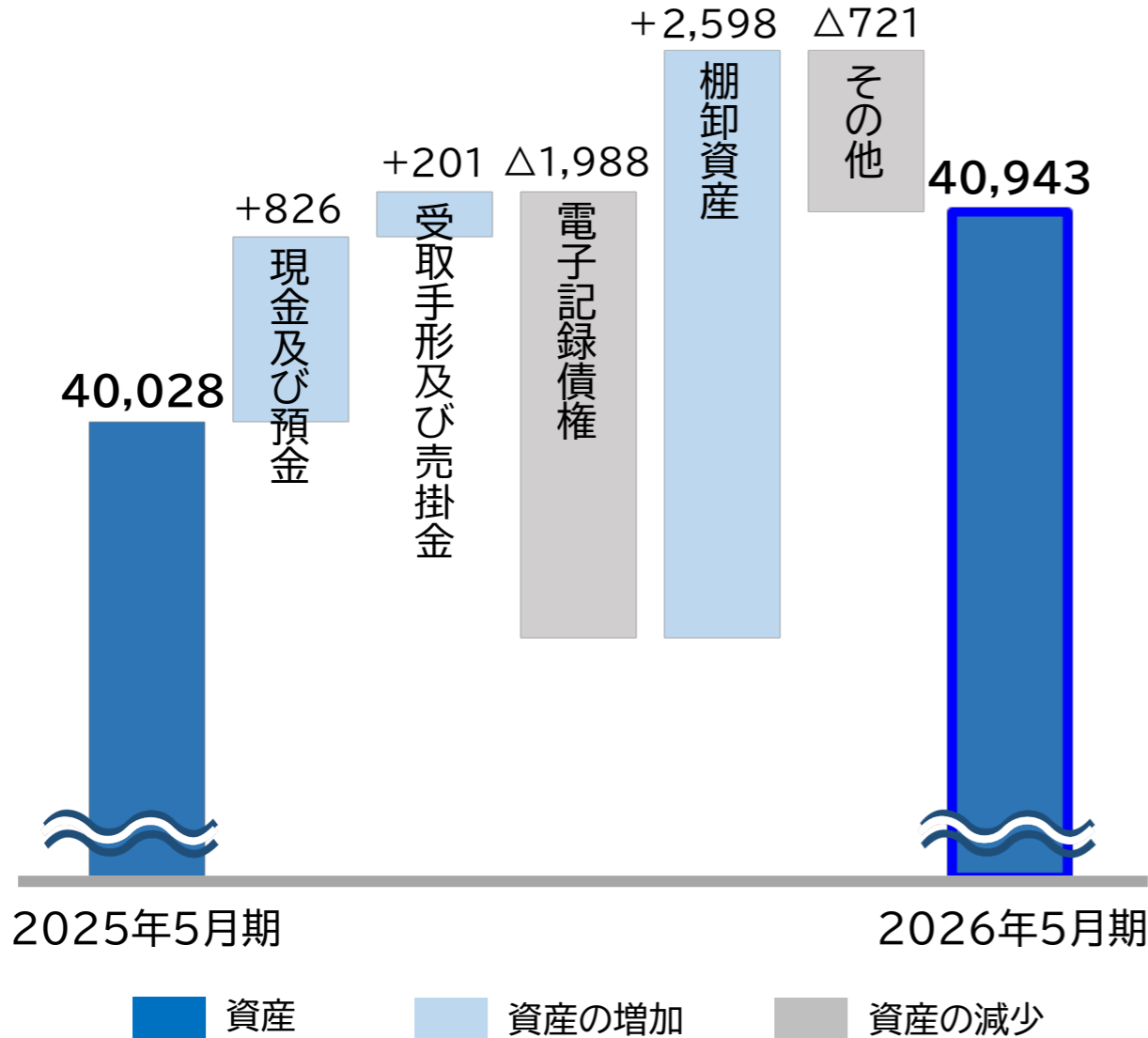
品目別売上高(参考)



8 2026年5月期 貸借対照表の概要

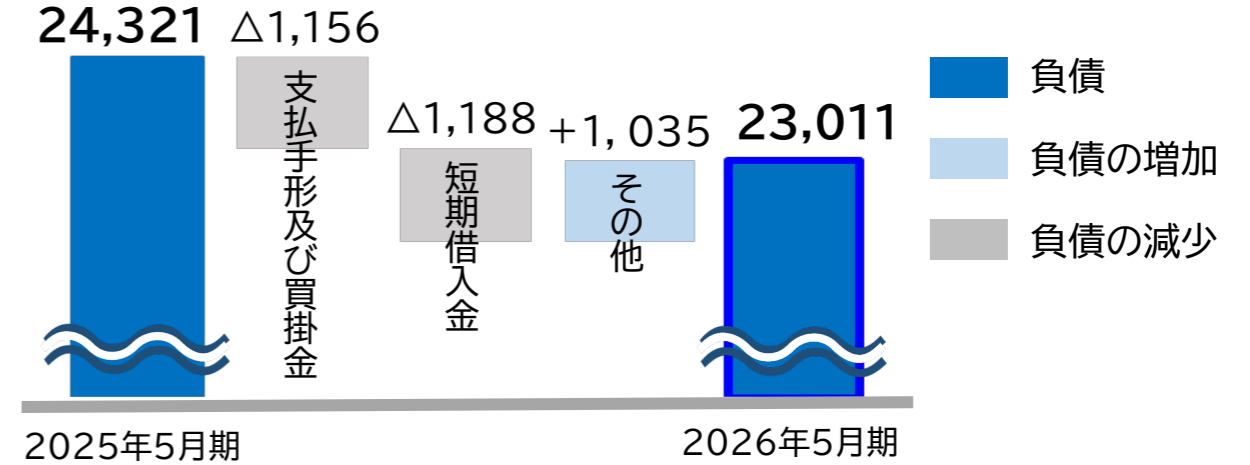
■ 資産合計

(単位:百万円)



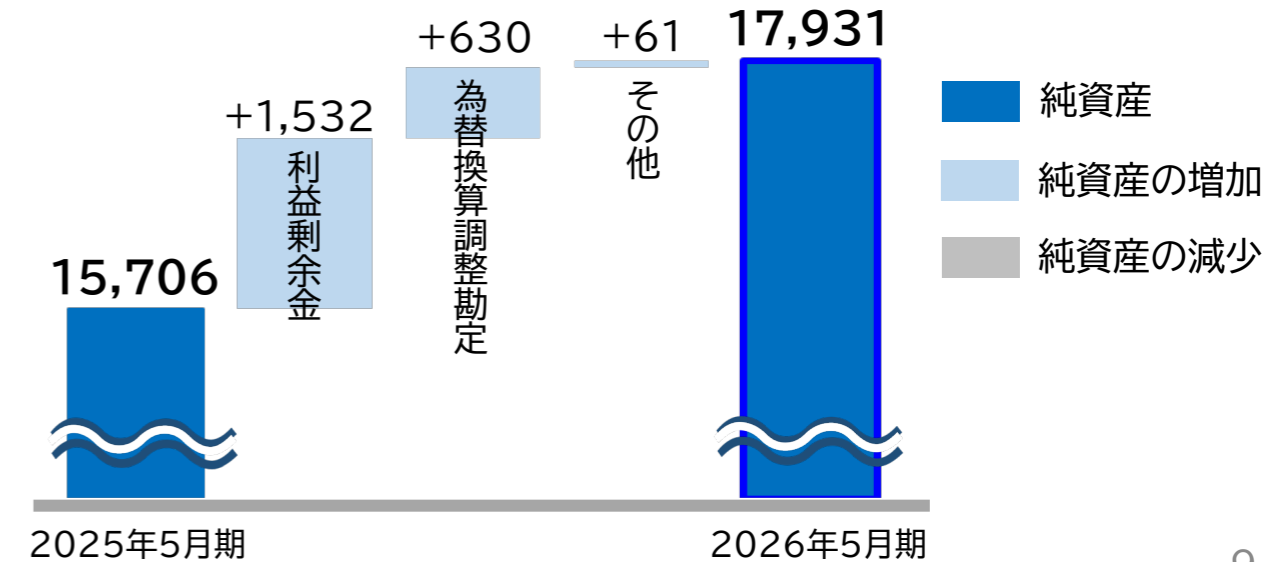
■ 負債合計

(単位:百万円)



■ 純資産合計

(単位:百万円)



9 2026年5月期 キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

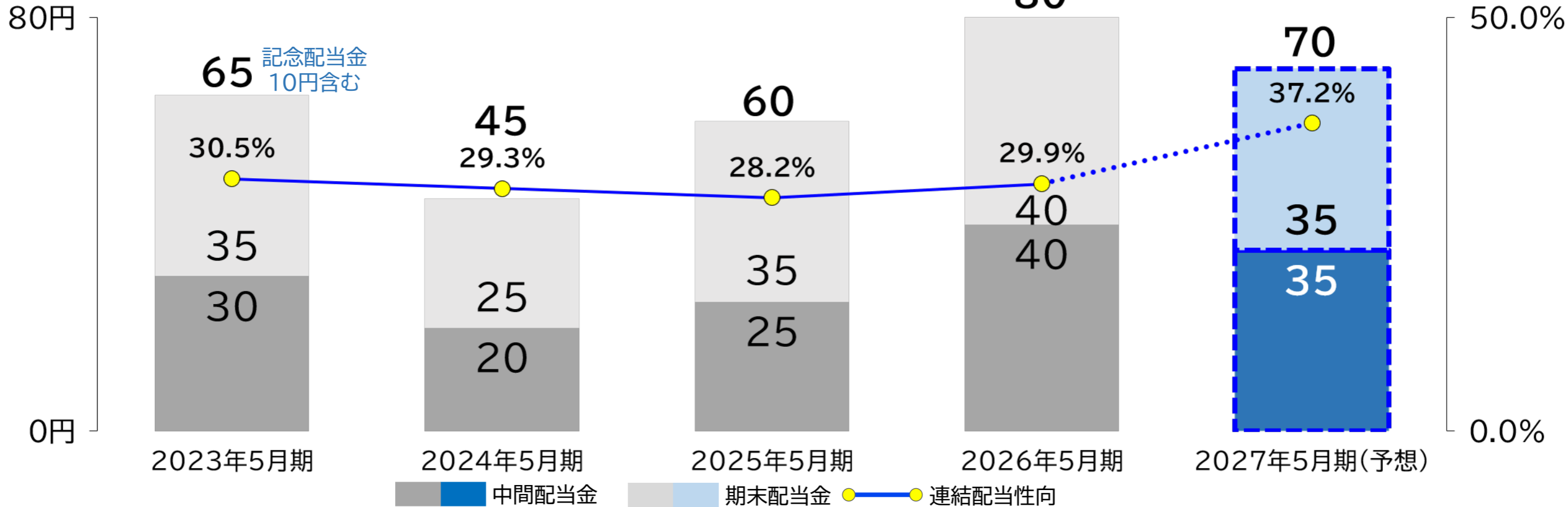
	2025年5月期	2026年5月期	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,217	+2,477	税金等調整前当期純利益	3,029
			売上債権の増減額(△は増加)	2,035
			棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,411
			仕入債務の増減額(△は減少)	△1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△69	有形固定資産の取得による支出	△157
			有形固定資産の売却による収入	148
			関係会社株式の取得による支出	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	+10,765	△1,929	短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,188
			配当金の支払額	△597
現金及び現金同等物の増減額	1,264	826		
現金及び現金同等物の期末残高	4,357	5,183		

10 株主還元

2027年5月期 年間配当金 1株につき70円(予想)

(1株あたり配当:円)

(配当性向:%)



※2026年5月期の期末配当金につきましては、2026年6月開催の取締役会で決議しております。
 ※現時点の予定につき、今後さまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

11 2027年5月期予想

■**経済情勢** : 国内外の経済社会活動は、中東情勢をめぐる地政学的なリスク、各国政策に伴う金融環境への影響など、不透明な状況。

■**業界動向** : 半導体及び電子部品、周辺機器やサービスの需要は、AI関連市場の拡大やDXの進展を背景として増加が期待されており、当社の注力分野である自動車分野や産業機器分野などにおいても、中長期的に安定的な成長が見込まれる。

■**業績見通し**: 自動車分野は、一部半導体の販売減少から売上の減少を見込んでおります。産業機器分野はAI関連市場の拡大などから受注の増加を見込んでおり、民生分野は、堅調な推移を見込んでおります。アミューズメント分野は今期と同程度の売上を見込んでおります。


(単位:百万円)

	2026年5月期 実績		2027年5月期 予想		前期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	増減額	比率
売上高	120,327	-	110,000	-	△10,327	△8.6%
営業利益	2,763	2.3%	1,800	1.6%	△963	△34.9%
経常利益	3,054	2.5%	2,100	1.9%	△954	△31.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,130	1.8%	1,500	1.4%	△630	△29.6%
1株当たり当期純利益(円)	267.25	-	188.17	-	△79.08	△29.6%

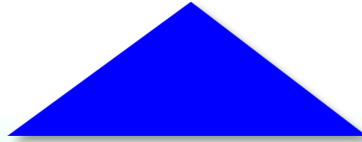
中期経営計画2026
(2024年度から2026年度)

<経営理念>

- 顧客第一主義
- 人間尊重
- 一流へのチャレンジ
- 創造的革新
- 企業の社会的貢献

<目指す姿> 

感動の架け橋



“New Stage”

中期経営計画2026

新中期経営計画 重点施策

<当社の精神>

- 三つ(お客様-当社-仕入先様)で立つ“ミタチ”
- お客様のお困りごとを解決しよう
- ミタチ“産業”の産業に込めた挑戦と発展

新たな収益基盤の創出
エレクトロニクスとデジタル技術をコアとした収益基盤の創出

“MONOもKOTOも”のスローガンのもとエレクトロニクスとデジタル技術をコアとした新たな価値提供により収益基盤の創出をすすめていきます。

基盤ビジネスの強化・拡大
対応レベル向上&領域拡大

基盤であるモビリティ・産業機器分野 民生・アミューズ分野において機能、領域、拠点の強化を行い売上と利益を拡大していきます。

健全な経営基盤の維持・強化
経営資本の最大活用、ガバナンスの維持・強化

経営理念の実践により培ってきた経営資本の強化と、従業員・組織がやりがいを持ち活躍できる環境をつくり経営品質を高めていきます。

13 中期経営計画2026の経営目標

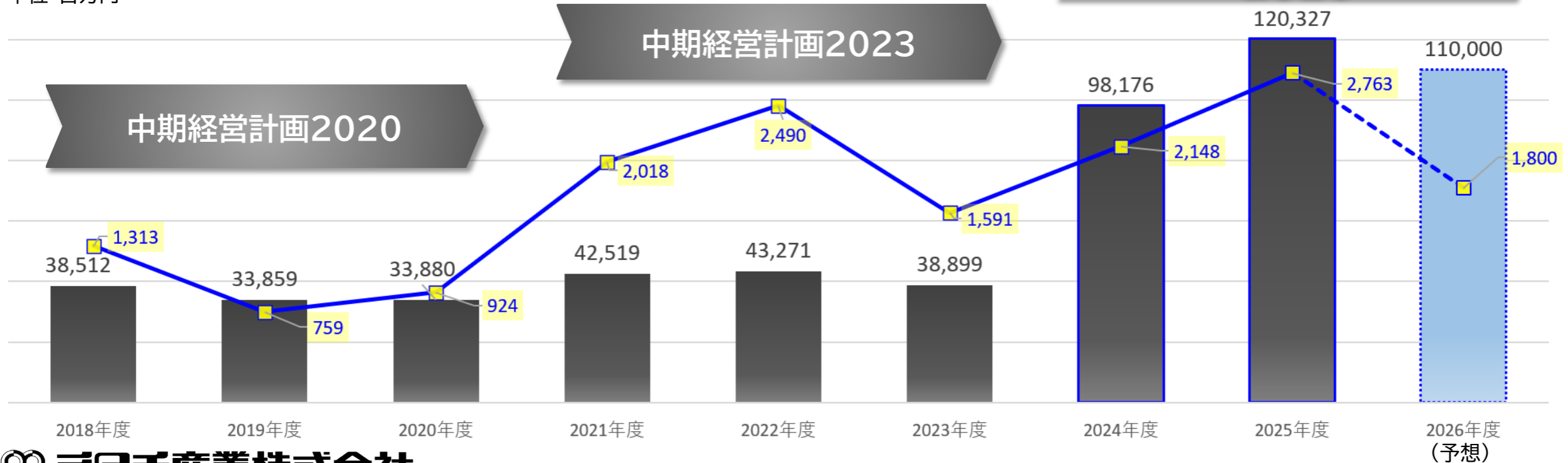
売上高・営業利益・ROE目標

既存ビジネスの強化、新たな収益基盤の拡大で事業成長を目指していきます

3カ年の目標	売上高	営業利益	ROE
	1,000億円	30億円	10%以上の維持・向上

- 売上高(予想)
- 売上高(実績)
- 営業利益(予想)
- 営業利益(実績)

単位:百万円

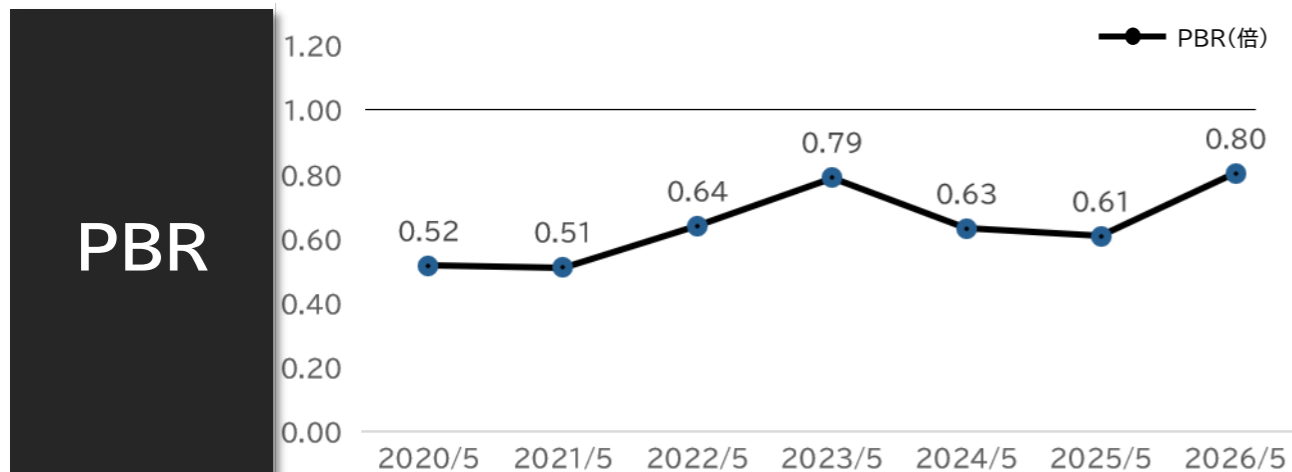


New 中期経営計画
2026

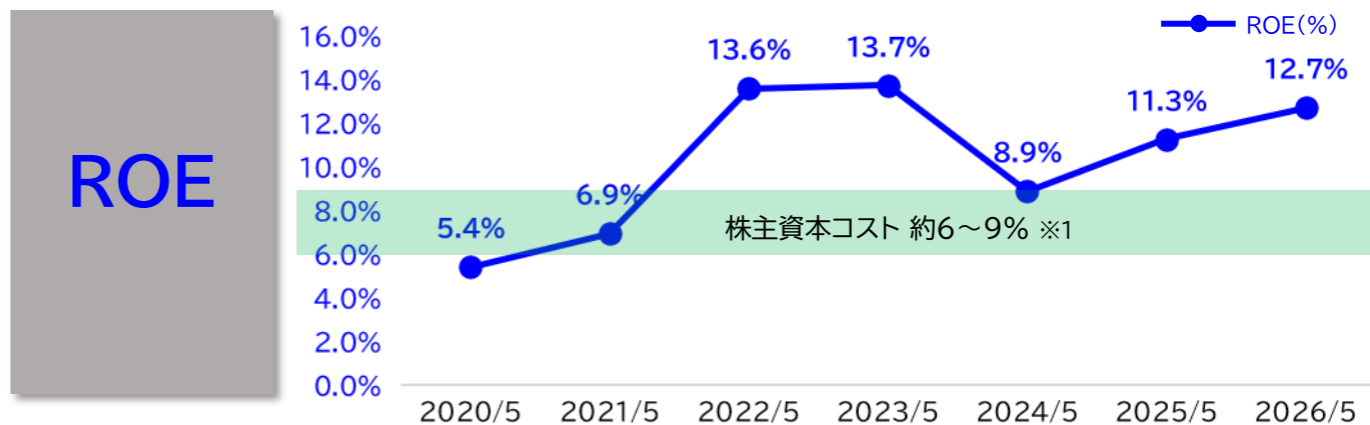
14 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について①

現状分析

●PBR(株価純資産倍率)は1倍を下回る推移



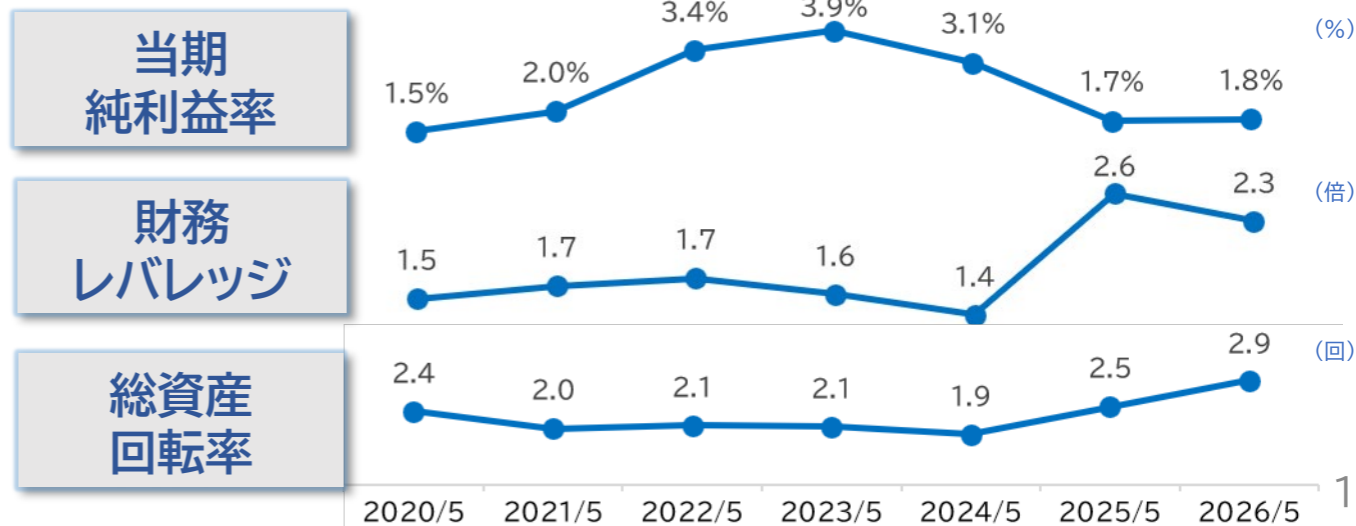
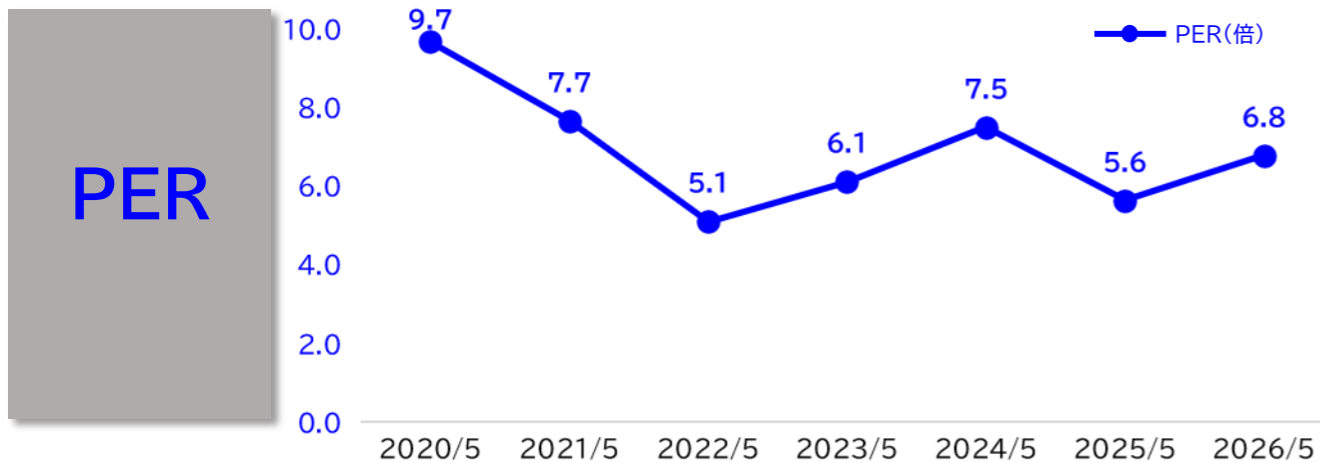
●ROE(自己資本利益率)は株主資本コストを上回る(2026年5月期)



※1.株式資本コスト(参考値)

リスクフリーレート 10年物国債利回りをベースに設定	+	β 当社株固有のリスク尺度	×	市場リスクプレミアム 株式投資に期待する超過収益率	=	株主資本コスト(参考値) 6~9%
-------------------------------	---	------------------------	---	------------------------------	---	----------------------

●PER(株価収益率) 成長期待、信頼の獲得が必要



15 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について②

取組み施策

目標	対応必要課題	取組み
PBR (株価純資産倍率) 向上	「中期経営計画2026」 ROE(自己資本利益率) 10%以上の維持・向上	■ 「中期経営計画2026」重点施策の着実な実行 <ul style="list-style-type: none"> 重点施策の実行により、経営・事業基盤の強化を図り、収益力の向上に取り組む ROEを経営の目標指標とし、株主資本コストを上回る収益性を追求 自己資本比率の向上、適正な負債比率の維持、安定的なキャッシュフローの確保により、財務健全性を維持
	株主資本コストの 総合的な抑制	■ IR活動等 エンゲージメント強化 <ul style="list-style-type: none"> 投資家・株主との対話を通じて、当社の成長性・可能性を共有 対話により寄せられた意見は取締役会で共有し、改善の参考として活用 個人投資家向けIR展示会等への参加 機関投資家との個別面談(取締役も参加して積極的に対話を実施) 決算、事業・企業活動などの情報開示の質と量の向上を図る ■ 株主還元方針に則した着実な配当の実施 <ul style="list-style-type: none"> 長期的視点に立った財務体質・経営基盤の強化とあわせ、株主への利益還元を経営の重要課題位置づけ 安定配当に配慮しつつ、業績を反映した利益還元を実施 連結配当性向は30%程度を目安に設定
	ESG対応の強化	■ サステナビリティ・コーポレートガバナンスの取組み <ul style="list-style-type: none"> 健康経営の実践(健康経営優良法人の継続認定) 人的資本への投資と「まなびたがる組織」づくりを推進 GHG排出量(Scope1・2)の削減への継続的な取組み 持続的な企業価値向上と株主との価値共有を目的に、取締役に譲渡制限付株式報酬を導入(2023年5月期より) 取締役会の実効性評価と改善による意思決定の質の向上 ガバナンスの維持・強化

1 防犯防災総合展2026 熱中症対策展に出展

犯罪・災害対策から日頃のそなえまでリスク・危機管理の最先端を発信

防犯防災総合展2026 熱中症対策展

CRIME AND DISASTER PREVENTION

2026年4月15～17日に開催された「防犯防災総合展2026 熱中症対策展」に出展しました。

熱中症対策ソリューションとして、東芝製ウェアラブルデバイス「MULiSiTEN」を活用した一元管理システム「ガーディアン」や現場環境の見える化を支援する「工事現場サイネージ」、パルチエ素子や気化熱を利用したクールウェアなどを出展し、当社ブースにも数多くの方にお越しいただきました。



リストバンド型センサ
MULiSiTEN MS200



熱中症指数計連動
工事現場サイネージ

サイネージ

2 健康経営優良法人2026に認定

昨年に引き続き「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されました。「人間尊重」「一流へのチャレンジ」の経営理念に基づき、従業員は会社の宝、財産と認識しており、会社、健康保険組合、従業員が一体となって健康の保持・増進活動をすすめ、一流の健康企業を目指しております。



3 2026年12月4日(金)5日(土) 名証IRエキスポ2026出展予定

2026年12月4～5日に開催される「名証IRエキスポ2026」に出展を予定しております。昨年は、数多くの方が当社ブースにお立ち寄りいただき、事業概要やトピックス、株主還元方針などの説明を実施しました。



17 会社概要及び株式の状況

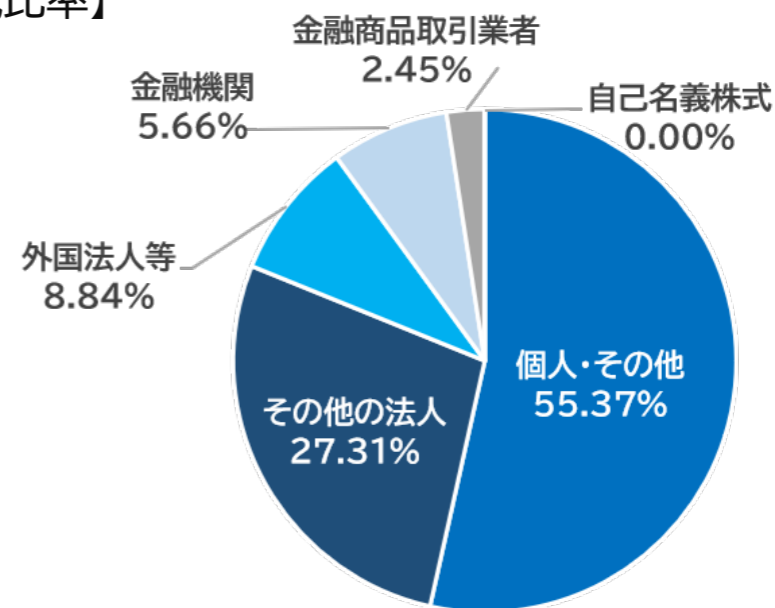
会社名 ミタチ産業株式会社
 MITACHI CO.,LTD.
創業 1972年9月
設立 1976年7月
本社 〒460-0026
 愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
資本金 8億4,739万7,203円
従業員 (連結)624名 (2026年5月31日現在)
 (単体)148名 (2026年5月31日現在)
役員 代表取締役社長 橘 和博
 取締役 沖 久和
 取締役 田村 学
 取締役 野村慎一
 取締役(常勤監査等委員) 大島卓也
 社外取締役(監査等委員) 中浜明光
 社外取締役(監査等委員) 松岡正明
 社外取締役(監査等委員) 澁谷 歩

【大株主の状況】

2026年5月末時点

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社JU	1,944,800	24.40%
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.51%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	197,500	2.48%
大和証券株式会社	172,500	2.16%
工藤 雅之	130,700	1.64%
INTERACTIVE BROKERS LLC	129,300	1.62%
橘 和博	123,400	1.55%
野中 光夫	110,000	1.38%
ミタチ産業従業員持株会	107,023	1.34%
株式会社大垣共立銀行	100,000	1.25%

【構成比率】



経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉。
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う。

人間尊重

従業員が会社の宝であり財産。
お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する。

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す。

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、
絶え間ない変革を遂げていく。

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと。

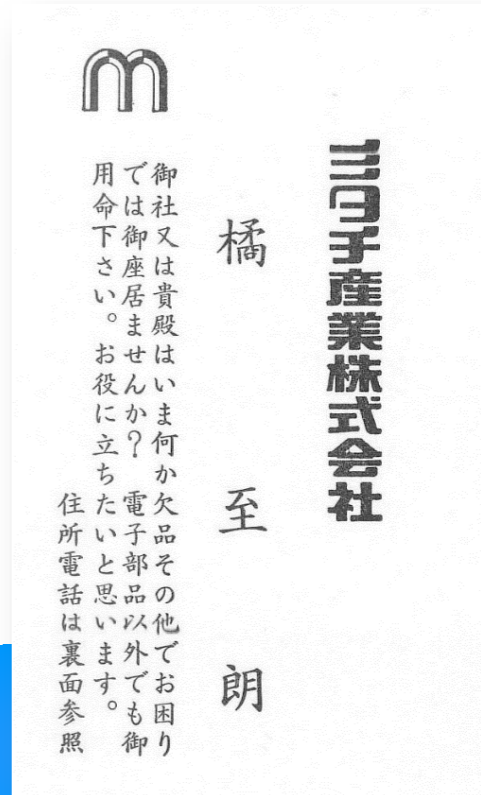
原点・原動力

「お客様のお困りごとを解決しよう！」

という熱き思いがミタチ産業の原点・原動力です。

ミタチ産業の「**産業**」は、お客様への貢献を目的としたあらたな産業への挑戦により、継続的な企業発展を目指していくという意志が込められています。

創業当時の名刺





お客様

当社

仕入先様

ミタチ産業の社名は三つで成り立つ

(お客様-当社-仕入先様)

という三位一体の精神に由来しております。



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」。2000年の時を超えて往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに当社のシンボルマークは生まれました。そこには「いつまでもお客様と仕入れ先様をつなぐ架け橋でありたい」という想いが込められております。

半導体・電子部品 (電子デバイス)

個別半導体からシステムLSI、メモリ、液晶、電子部品、基板、モジュールの販売、多種多様な商品をワンストップでご提供

設備・副資材

表面実装機、印刷機、リフロー槽をはじめとする電子部品実装ライン、検査機、専用自動機、消耗材や副資材等を販売

EMS

自社工場をはじめ国内、海外を問わず基板のアッセンブリからユニット、製品の組立まで対応
EMS: Electronic manufacturing services
電子機器受託製造サービス

組込製品

海外CPUボード、パネルユニットを数多く取扱い、様々な分野向けの標準品、カスタム仕様品の対応が可能

設計開発

回路設計、筐体設計、ソフトウェア設計、製品デザインなど、商品・製品の開発におけるトータルでのサービスに対応

IoT/DX

自社オリジナルのIoTプラットフォームmiotシリーズなど、様々なお客様の課題をデジタルの技術で解決



国内拠点数：**5** 海外拠点数：**10**

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ミタチ産業経営理念

顧客第一主義

人間尊重

一流へのチャレンジ

創造的革新

企業の社会的貢献

ESG経営

Environment 環境

- ・環境方針の確立、ISO14001の認証取得
- ・GHG排出量の削減(Scope1.2)
- ・省電力の半導体や電子部品、ICTを活用した資源利用の効率化
- ・在庫の適正化で廃棄物ロスの最少化を推進



Social 社会

- ・品質方針の確立、ISO9001の認証取得
- ・働き方改革、健康経営の推進
- ・従業員の能力開発、ダイバーシティの推進
- ・ソリューションやサービスを通じた社会課題への対応
- ・セーフティードライブ活動やエコキャップ運動への参加



Governance ガバナンス

- ・コーポレート・ガバナンスの維持・向上
- ・リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンスの徹底



当社の持続的な成長

持続可能な社会の実現

◆将来予想について

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれ、その実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なることがあります。

また法令等で別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来の見通しも最新のものとする義務を負いません。

IR資料室



ホームページ



お問い合わせに関する窓口

 **三ツ子産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

HP <https://www.mitachi.co.jp>